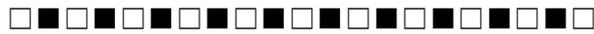




岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方におのみお送りしています

第 43 号(2012 年 2 月 23 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

まだまだ寒さは厳しいですが、このところ日が長くなったように思えます。
法学部だより第 43 号をお届けします。

目次

- 卒業生からのメッセージ (第 21 回)
- パリ便り～ソルボンヌからの風～ (第 14 回)
- 法学部からのお知らせ
- 最近の話題

○ 卒業生からのメッセージ (第 21 回)

私は、平成六年に岡山大学法学部を卒業しました。特定の業種・業態に偏ることなく、民間に在りながらも経済全体の動きを俯瞰して、天下国家を論じつつ此の国の発展に貢献していきたいという漠然とした思いを胸に、(旧)日本興業銀行を職業人としての舞台として選択し、今現在、法人営業の前線に立っています。

社会人となって 18 年目になるわけですが、中堅・中小企業や上場企業の担当者として、グループ持株会社の企画担当者として、また国土交通省鉄道局の企画担当者(出向)として、バブル経済が崩壊した後の所謂『失われた 20 年』を、各々の現場で過ごしてきたこととなります。

我が国を取り巻く環境は、近時益々厳しさを増している印象を強くしています。グローバル競争の激化、財政難、少子高齢化、政治の不安定、そして今回の東日本大震災・・・これらは全て、これから先、我々の世代が逃げることなく各々の現場で背負っていくべき課題と考えています。

来春より社会人となる方も、今年入学したばかりの皆さんも、残された学生としての時間を是非大切に過ごしてください。都会の喧騒から離れ、遠く未来に心を巡らせて、暗中模索しながら思いの種を蒔いてみてください。

私自身も、18 年前、職業人となるに当たり岡山の地で胸に抱いた青臭い『漠たる思い』を心の杖としながら、今より少しでも良い我が国の未来を創造するための仕事を残せるよう、一隅を照らす努力を懸命に積み重ねていきたいと考えています。

いつの日か、皆様とも共に仕事をさせて頂ける機会に恵まれることを願っております。

(1994 年卒業) 榎みずほコーポレート銀行

桑田 有紹

○ パリ便り～ソルボンヌからの風～ (第 14 回)

「2 番目」には 2 つの意味がある？

今回は、数字の話です。ご存知の方も多かもしれませんが、フランス語で数字の 1、2、3 はそれぞれ、「un, deux, trois」(アン、ドゥ、トロワ)と表されます。これに対応する序数はそれぞれ、「premier, deuxième, troisième」(プルミエ、ドゥズィエム、トロワズィエム)となり、1 番目だけが例外で、あとは規則的に変換されます。しかし、興味ぶかいことに、2 番目だけは「deuxième」のほかに、もう一つ「second (スゴーン)」という言い方があります。これは綴りを見れば想像できるように、英語のセカンドと同じです。それでは、ともに「2 番目」を意味するこの 2 つの表現は、どのように使い分けられているのでしょうか？

まず、具体的用例から見てみましょう。建物の 2 階を表すときは「deuxième étage」、また、成績などの順位で 2 位を表すときも「deuxième rang」です。これに対して、特急電車の 2 等席は「seconde classe」、オーケストラの第 2 ヴァイオリンも「second violon」です。歴史上の出来事についても、ナポレオン 3 世を皇帝に頂いた「第二帝政」(1852~1870 年)は、「Second Empire」と呼ばれます。一体、違いはどこにあるのでしょうか。

フランス語の用法では一般に、2 つしかないものについていう場合に「second」が用いられ、その他の場合は「deuxième」が用いられるようです。というのも、「second」にはそれに続く 3 番目の語が存在しないからです。

(さすがに、「third」とは言いません)。先の例を見ても、特急電車には 2 等席までしかなく、オーケストラにも通常、第 3 ヴァイオリンパートはありません。第二帝政についても、ナポレオン 3 世後のフランスでは共和政体が続いており、第三帝政はいまだ実現していませんし、多くのフランス人は帝政の実現をもはや望んでもいません。

さて、ここまで説明してきたところで、最後に問題です。フランス語で「第二次世界大戦」はどう表記されるのでしょうか。そうです、答えはもちろん「Seconde Guerre Mondiale」です。上記の用法がここでもあてはまるとすれば、もはやこの言葉に解説など必要ないでしょう。

井上武史 准教授

○ 法学部からのお知らせ

今年度卒業予定のみなさんへ、謝恩会実行委員会からのお知らせです。

・岡山大学法学部謝恩会

日時 3月23日 午後7時～

場所 リーセントカルチャーホテル (会場 マンハッタン)

費用 5000～6000円(詳細は後日)

服装 男性 スーツ 女性 ドレス(スーツ可)

申込みは、2月21日までに、下記実行委員会のアドレスまで出欠の連絡(氏名、担当教官名)をメールしてください。

岡山大学法学部謝恩会実行委員会 law2011_syaonnkai@yahoo.co.jp

○ 最近の話題

☆第7回法学部研究フォーラムが開催されました。

2月22日(水)に、第7回の研究フォーラムが開催されました。今回は、小田川大典先生に「思想史教員としてのジョン・ロールズ『政治哲学史講義』を読む」と題して話題提供をしていただきました。当日は、15名以上の教員が参加し、活発に意見交換を行いました。

☆2011年11月19日に開催された第7回ジュニアロースクール岡山開催についての報告を法学部ホームページに掲載しました。

http://www.law.okayama-u.ac.jp/renkei/law_edu/juniorlaw/2011_html

- ・本メルマガは、毎月2回程度配信しています。
- ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。
法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
- ・本メルマガには返信なさらないようにお願いします。
- ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いします。
<http://court.law.okayama-u.ac.jp/mail/register.html>
- ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho@law.okayama-u.ac.jp まで。